

A様より

槍の解説がとても分かり易く興味を惹かれ、自分も一振り入手したいと思いました。構造を淡々と記述するのではなく、なぜこのような形になったのかという筋の通ったストーリーのため、突くよりも叩くことに威力があること、石槍から続く長い歴史があることなど説得力がありました。御社で現在扱っている槍は十文字槍が多いので、十文字槍の記事にするとWEBサイトの閲覧数も上げられるのではないのでしょうか。渋沢栄一が剣術の稽古をしていたという記載が目に入り、全て読んでしまいました。私が剣術の稽古をしている為ではありますが、武器に興味を持っている人を読者にしている以上、記事にする人物と武器・戦とのつながりを僅かでも記載すると興味を惹かれると思います。

コメントありがとうございます。

当社のニュースレターを読んで、納得頂きありがとうございます。貴方様の「なんで?」「どうして?」の答えを出せるような、記事作成に努めて参りますので、これからも疑問に思った事等ございましたら、お気軽にご連絡下さい。十文字の記事を、今後取り上げていこうと思います。アドバイスありがとうございます。

お客様からのコメント



島谷

I様より

今月は、槍に付いて大変勉強に成りました。今年の一文字挨拶で、花本さんの「出」に対しての自分は、出陣と言う字で挨拶ですね? 去年は福島県南相馬市の相馬野馬追がコロナの為、馬での出陣が出来なかったのが、今年は馬で出陣したいですね。

コメントありがとうございます。コロナが落ち着き、以前の生活に戻ればと、心より思っております。私は、野馬追での馬が駆け抜ける音が、今でも忘れられません。今年の野馬追では、馬で出陣出来ることを心より願っております。

N様より

毎回「語ります 大和魂」では、とても参考になる刀剣類の話があり、楽しく読ませて頂いています。コロナ渦で大変ですが、長く続けて下さい。

コメントありがとうございます。これからも、飽きさせる事ない記事・内容を充実したニュースレターを作っていきたいと思っております。次回もどうぞ楽しみにしていて下さい。これからも「届けます 大和魂」を宜しくお願い致します。

届けますっ! 大和魂 2021年4月 Vol.41

经营理念

有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します



こんにちは、島谷貴子です。皆様いかがお過ごしでしょうか? 島谷家! コロナ渦でも、行事事はぎっちり家の中でもやっちゃいますっ!



3月3日は「桃の節句」。3人娘なので、1年の中で欠かせない行事の一つです。今年は皆で集まってというわけにはいかないので子供たちと「雛祭り」という名の「女子会」を開きました。飾り付け、盛り付け、全て子供達がしてくれました。三人が、「こうしたらいいね」「花はこっちに置こうよ」と声を掛け合う姿を見ると成長したなあ〜と感じました。

- 1 菱餅 (厄除け・清淨・厄病除け、健やかな成長を願ったもの)
- 2 雛あられ (儉約の心を表したのもの)
- 3 白酒 (甘酒の中に桃の葉を浮かべ、ありとあらゆる病気を取除くとされたもの)
- 4 蛤 (相性の良い相手と結ばれて仲睦まじく過ごせるよう願ったもの)
- 5 ちらし寿し (長寿祈願の海老、見通しのいい人生を願う運根、健康勤勉を願う豆)

雛祭りに欠かせない料理の話をしました。



飾り付け、盛り付けは私達に任せて!

完成!!

一人一人が、思う願いに合った食べ物を選び、一斉に口に運びました。長女(ほのか)「病気になるりませんように・・・」と白酒 次女(はるか)「幸せになりますように・・・」とレンコン 三女(ふうか)「彼氏ができますように・・・」と蛤 「8歳のふうかが、いうんかいっ!」と一斉に姉たちに突っ込まれていましたっ笑 子供達の成長を改めて感じることもでき、とても楽しい一日となりました。食べる物にも意味がちゃんとあることを、一緒に話せ、日本の良き伝統を親子で感じられる日となりました。三人娘が、元気に成長し、いつまでも笑顔の絶えない人生を送れますように・・・そして、娘達が幸せな人生を送れるよう、母として元気でいられますようにと願いました。



病気になるりませんように

幸せになれるように

彼氏ができますように

長女(ほのか)

三女(ふうか)

現代の「桃の節句」とは!?

平安時代より始まったとされています。流れる水に、わが身の厄を流す中国の風習と、人形をわが身に代えて祓いとする日本古来の習わしが混ざり合い、日本ならではの節句が生まれました。正式な名前前は「上巳の節句」と呼ばれ、年中行事「五節句」の二番目にあたります。「桃の節句」、「雛祭り」と呼ばれるようになったのは、江戸時代からだと言われています。3月3日頃に桃が咲くことや、雛人形を飾ることで災いがふりかからず、美しく成長し、幸せな人生を送れますようにと願いが込められているからです。



新春 お年玉プレゼント 当選発表!!

2月号掲載「新春お年玉プレゼントクイズ」での問題
バスに8人乗っています。そのうち、3人が降りました。今、バスに乗っている客は何人でしょう?

正解は4人でしたあ〜!!
5人かな?とってしまう、ちょっとひっかけですね!!

11等賞
スマートディスプレイ with Alexa

沢山の応募の中から当選されたのは
岡山県 いのおか様です!
おめでとうございます!! 近日中にお届け致します。

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。 件名:ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報はホームページ <https://daimyou.com/>
広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp
TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

有限会社 **大名**

こんにちは。中堀明美です。

前号の菊池槍に引き続き、今号では「大身槍」について

語らせて頂きます♪

日本で発達した槍の一種で、穂の長さが30cm以上を大身槍と呼びます。穂が長い事を利用して、乱戦で敵の騎馬兵の馬の足を狙って薙ぎ払うことも出来る為、とても脅威となる武器でした。(※薙ぎ払う…横に勢よく打ち払う事)ですが、穂の長さが長く大きくなるにつれ、重量が増し扱いにくくなります。扱うことができたのは、筋力と腕力が優れた槍の使い手だけでした。日本において、数ある槍の中でも天下に名だたる槍が…

- ◆ 日本号 ◆
- ◆ 御手杵 ◆
- ◆ 蜻蛉切 ◆

この3本を「天下三名槍」と呼び、そのすべては大身槍でした。

語ります 大和魂

◆ 日本号 ◆

福岡市博物館展示
全長:321.5cm/穂(刃長)79.2cm/茎長80.3cm(拵含重量 約2.8kg)

①平三角



③地鉄:板目



④刃文:直刃



②俱利伽羅龍 浮き彫り



～名を付けたのは～

この槍は、もともと朝廷の所有物でした。「正親町天皇:1557～1586年」から室町幕府十五代將軍足利義昭が譲りうけ、のちに「織田信長」、

「豊臣秀吉」の手に渡りました。秀吉は、「後陽成天皇:1586～1611年」からこの槍を拝領したとの説もあります。天皇のお体に触れた物を自分が身に付けるのは恐れ多いと、秀吉は槍に見合った拵を造らせました。それを聞いた天皇は、「無銘の槍が立派になった」と喜び、この槍に正三位の位を授けます。秀吉は日本号と言う名を付けて槍を大切にしました。※正三位:上流貴族の位階、神階(日本において神道の神に授けられた位階)

～槍の名手～

秀吉の家臣である、福島正則は「賤ヶ岳の戦い」で一番槍・一番首として敵将榊原家嘉を討ち取った「賤ヶ岳の七本槍」のひとりです。名槍にふさわしい持ち主だと思われ、正則に譲りました。



～呑み取りの槍～

福岡藩主で黒田家の家臣・母里友信も槍の名手と呼ばれていました。黒田二十四騎(黒田家の家臣の中で勢いが強く、鋭い力を持っている24人を選出した呼称)のひとり友信は、生涯で敵将の首を76も取ったと言われています。正則と友信には、槍の名手という以外に、もうひとつの共通点がありました。2人とも酒豪だったのです。友信は黒田長政からの使いで、正則の所へ行くことになりました。長政は酒でのトラブルを心配し、正則から酒を進められても飲んではいけないと友信に言いました。ですが正則から「この三升の杯を干せば何でも褒美に取らす」ともちかけられます。それでも約束を守り、友信は何度も断りました。すると正則は「黒田の武士は酒に弱い、黒田のハ虎は酒に弱い」とからんだそうです。さすがにこの侮辱には腹を立て、差し出された三升の酒を呑み干し、友信の手に渡りました。



名立たる武将達ばかりの手に渡り、とても愛された大身槍ですね!全長が321.5cmもある槍を使いこなすなんて凄いですね。日本号が、使える凄腕の人を選んで手元に渡っていると感じました。次号では、天下三名槍の御手杵、蜻蛉切について語らせて頂きます♪

当社に大身槍がございますのでお気軽にお問合せ下さい。



ハナエモンの

タイムスリップ!

4号に続けて、幕末～大正時代の方にタイムスリップしてきましたが、という声をいくつか頂きましたので、今号は戦国武将。新型コロナウイルス大変な現在の世界。戦国時代にも感染症じゃなくても大変な状況の中、諦めずに戦い続けた沢山の戦国武将達がありました。そんな先人達の生き様を知ること、皆さんの励みに少しでもなればと思い、今回はこの方にタァ～イムスリップ!

そろそろ戦国武将を感染症による影響で

美濃国(現在の岐阜県)の豪族・仙石久盛(ひさもり)の四男として生まれた。斎藤家と織田家が争う中で、嫡男が相次いで倒れたことにより、仙石家の家督を継いだ秀久。斎藤家が敗れると、織田家の家臣となり、羽柴秀吉の家来となりました。姉川の戦いなどに参加し功績を評価され、22歳で1000石の領主となります。その後も順調に功績を挙げていった秀久は、31歳で淡路国5万石、33歳で讃岐国11万石の大名になることが出来ました。江戸時代には、信濃小諸5万石の藩主となる事が出来ました。

諦めない男の逆転人生

仙石秀久

せんごく ひでひさ 1552～1614年



九州征伐での大失態

1586年(34歳の時)秀吉の家来として、順調に出世をしていた秀久。秀吉の九州征伐が始まると先陣役を任せられることとなります。持久戦で進めたい秀吉は秀久に手紙を送っています。士気の低い同盟国の大友軍、四国征伐から間もない四国勢、来る気配がない秀吉本軍。焦ってしまった秀久は、秀吉の忠告を無視して、積極的に島津軍に攻撃を仕掛けてしまいます。序盤こそ優勢でしたが、反撃に合い、秀久軍は壊滅的な打撃を受け、讃岐まで逃げてしまい、豊臣軍の敗北となってしまいます。これに激怒した秀吉は仙石氏の領地を召し上げ、高野山への追放を命じました。20年近く働いてきた成果を一瞬にして失うことになったのです。

鈴鳴り武者

1590年(38歳の時)秀吉による小田原征伐が始まると息子と旧臣ら20名で駆け付けます。名誉挽回の機会を得た秀久は、敵将を引きつけ武功を立てるため、陣羽織一面に鈴を付けたそうです。自ら十文字槍を振るって、虎口(こぐち/城郭・陣営などの最も要所とされる場所)を占拠する大活躍をします。この活躍に喜んだ秀吉から、金田扇を与えられ、更に5万石の信濃國小諸(長野県小諸市)を与えられ、大名復帰に成功します!!! 秀吉に改易され、大名の身分にまで回復した人物はとても珍しいです。



信州蕎麦を作った!?

武辺一辺倒の武将に思われがちな秀久ですが、以外にも領内の開拓・整備にも功績を残しています。新たな産業を興そうと目を付けたものが蕎麦です。当時は蕎麦がきが一般的で、それを細長く切った現在の蕎麦を考案したのが秀久達。信州そば・小諸そばの原型がこの当時に作られたということです。秀久の玄孫の仙石政明の代に但馬国出石(兵庫県豊岡市)に移封されると、蕎麦職人達も一緒に引っ越し、蕎麦を伝え出来たのが出石皿そばだそうです。その後、仙石家は大名として明治維新まで続き子孫は貴族院議員を務めたりしています。秀久の逆転人生が無ければ、大名家として、明治維新を迎えることはなかったと思うと鈴なり武者の頑張り、その後の300年を決定づけたのです。

